

## 平成 18 年度鳥取市政懇話会 第 5 回文化観光部会議事要旨

日時：平成 18 年 12 月 8 日（金）午後 1 時～2 時 50 分

場所：鳥取市役所本庁舎 4 階第 3 会議室

出席者

【委員】福本部長、池原委員、沖委員、下田委員、須崎委員、細田委員、森田委員、山本委員 < 欠席 岡垣副部長、植木委員、森山委員 >

【鳥取市】林副市長 < 事務局（企画調整課） > 井上主任

協議内容

< 資料 P.9 鳥取砂丘を満喫する >

委員 「サンド・ミュージアム」は「砂の美術館」に修正。

委員 砂丘温泉・岩戸の滞在時間を「30 分」から「1 時間」に。

委員 鳥取大学乾燥地研究センターの活用を。ループバスの運行をあそこまで伸ばすとか。

< 資料 P.10 気高の里を逍遙する >

委員 青谷上寺地遺跡も見てもらおう。

委員 「貝がら節を見せる、聴かせる」に加え、「体験させる」。

< 資料 P.11 八頭の里を逍遙する >

委員 「囲炉裏端で食事ができないか」ではどこの囲炉裏が分からないので、「佐治民俗資料館の」を最初に加える。

< 資料 P.14 神話と伝説の道 >

委員 「湖山池遊覧」「ひし」「青島」という項目も加える。青島の頂上から見た景色は美しい。

< 資料 P.14 万葉への道 >

委員 「国庁跡」を加える。そこから因幡三山を眺めて説明する。

委員 「アトリエ小学校」「ダム工事見学」「美歎水源地」を加える。ダム工事は予約制で 2 時間くらいのコース。

委員 国庁跡の再整備をすべき。

委員 雨滝で川床料理ができないか。

< 資料 P.15 池田光仲 - 32 万石への道 >

委員 「観音院」「山の手通り」「大雲院」を加える。

< 資料 P.16 因幡の白うさぎと大国主命 >

委員 「ハマナスの群生地」を加える。

<資料 P.16 童謡唱歌のまち鳥取>

委員 岡野貞一の「2008年に生誕130年」を加える。

<資料 P.17 特撰鳥取アラカルト>

委員 用瀬の「赤波甌穴群」「フォレストリア用瀬」「板井原」を加える。

<その他>

委員 今回作ったプランを、定期観光バスのような形で商品化できないだろうか。主要な観光都市にはたいてい定期観光バスのコースがある。

また、これらのコースを市民が知る機会を作ることが必要。

さらに、るぶなどと共同でフリーペーパーのような形で鳥取エリアのガイドブックをつくれないか。

北近畿、中海圏は観光に力を入れており、鳥取圏がすっぱり抜けている。

委員 県内のお客さん向けにモニターツアーを行っては、市民と観光業者の方と一緒に。市政懇話会の委員さんがガイドする。

委員 やはり詳しいパンフレットは必要だろう。

部会長 今あるのはコンベンション用の簡単なもの。じっくり眺めてプランを立てられるようなパンフレットが必要。

委員 賀露でお客さんが店の人に「次はどこを見に行ったらいいんでしょうか」と聞いていた。

やはりみんながどこを見ればいいのか分からなくて困っている。

委員 池田家墓所のきちんとしたパンフレットを空港に置くようにしたら、レンタカーで空港から直接池田家墓所まで来てくれる客がぽつぽつと増えてきた。パンフレットを見て「ぜひ見たかった」とのこと。蛍の時期、桜の時期、それぞれのパンフがあればみんな見に来てくれる。

部会長 今後の展開として、まず「商品化」。次の会があるとすればエージェントの方を呼んでプロの視点でこのプランを見ていただきたい。

また、NHKの「おーいニッポン」、のど自慢、朝の連ドラなどで、2009年に合わせてPRしていきたい。そのための素材提供をする必要がある。

民族芸能については、パレットの市民ホールを使って、毎週金・土曜日に各種民族芸能の発表会をしたいということでパレットに話をしている。4月から実現できれば。

また、福部の左近の奥に清内谷という村があって、4世帯で9名、最年少が80歳という村がある。ここでグリーンツーリズムに取り組んでいる。ぜひバックアップしたい。